

1. 件 名：公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年11月11日 10:00～11:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、和田専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター

安全管理課長 他1名

5. 要 旨

公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター（以下「NMCC東海」という。）から、令和3年12月7日に予定されている同センターにおける原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容

原子力規制庁から、中期的計画においてはフルブラインド訓練を検討すること、今回の訓練に係るシナリオについて多様性を更に検討すること等を伝えた。NMCC東海から、本日の面談を踏まえ対応する事旨回答があった。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁とNMCC東海の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：令和3年度総合防災訓練について（案）